

平成 26 年度 豊橋技術科学大学同窓会 臨時総会 議事録

日 時：平成 26 年 8 月 30 日（水）13：00～16：00

場 所：駅前サテライトオフィス

出席役員：古野会長、高嶋顧問、稲田副会長、関下、田崎、河野、後藤、川島、小林、立間、栗田、岡辺、山本

配布資料

- 役員名簿 【資料番号 26TS-1】
- 委任状集計結果 【資料番号 26TS-2】
- 海外支部細則および組織図 【資料番号 26TS-3】
- Web 会員名簿システムの概略 【資料番号 26TS-4】
- 同窓会会則改定案（新旧対照表） 【資料番号 26TS-5】
- 平成 25 年度事業報告&平成 26 年度事業計画 【資料番号 26TS-6】
- 平成 25 年度決算報告&平成 26 年度予算計画 【資料番号 26TS-7】
- Web 会員名簿システムに仕様 【資料番号 26TS-A1】

議 題：

0. 臨時総会の成立確認

資料 26TS-1 により出席役員数を確認し、臨時総会の成立を確認（古野会長）。

資料 26TS-2 により、委任状の数を確認。（山本）

1. 海外同窓会組織設立について（関下）

資料 26TS-3 により説明され、承認された。

質疑応答：

Q. 海外の会社に就職した日本人の数はどれぐらいか？

A. 数は分からないが、増えているのは事実。今回の組織は、外国人中心だが、海外在住者も対象。そういう人も含めて、ネットワーク化していきたい。帰国留学生で偉くなっている人もいるので、その力を使いたい。（高嶋）

Q. 日本の活動が縮小しており、海外の活動はありがたいが、友達レベルを越えて、名簿によってビジネス上のメリットまで持っていけるのか？友達なら独自に連絡を取るのでは？

A. 国内をしっかりとしないといけないのは事実だが、海外との連絡網もあれば嬉し

い場合もあるし、日本人海外在住者のネットワークとしても利用可能である。会費の見返りという側面もある。名簿の利用価値は高い。(古野)

マレーシアにはマレーシアの同窓会があり、Webの連携等で、その組織化の手助けをする。(高嶋)

Q. 海外組織のくくりは国か？地域か？

A. 国でないとダメとは考えていない。国名を出している国は留学生の多い国で、独自に組織化できる。今後は例えば、メキシコの留学生が増えているため、北米セクション等を考える。(関下)

Q. 人数が少ない場合、個人用の窓口をどこに置くのか？

A. その場合の窓口をどこにするかは後に議論する。個々の留学生は基本的には各系の組織に属しているので、そこが窓口候補になる(古野)

Q. 系毎に同窓会組織があるが、意味があるか？

A. 系毎の組織は同業種間組織ということで意味がある。地域組織は異業種間ということで意味があるので、そのような組織があってもいいかもしれない。(古野)

Q. 同窓生で何かやろうとしてもなかなか連絡が取れないが、系が組織としての最低限のくくりではないか？ビジネスでなくても同窓生の状況をうかがえるのが重要ではないか。名簿の流出には注意して欲しい。

A. 系毎に活動を活性化して欲しいと考えており、そのための土台となるシステム作りだと考えていただきたい。今後は、会社内でのかたまり(社内同窓会)を作っていくたい。

2. 同窓会業務外部委託 (Web 会員名簿システム) について (田崎)

資料 26TS-4 および 26TS-A1 により説明があり、承認された。

質疑応答：

Q. 登録した人のメリットは何か？個人情報を与えるだけでなく、例えば、同級生とチャットできるようなシステムはあるか？

A. グループ登録ができるため、研究室同窓会が簡単にできるようになる(100人規模の管理が楽にできる)ことがメリット。個人対個人でのやり取りは難しい。(田崎)

Q. 他の大学はどのように考えてこのようなシステムを導入しているのか？

A. イベントの連絡用に使われており、一方通行になっているものが大半である。我々はグループ管理を導入して、グループでの活動を活性化することを狙っている。(田崎)

Q. 「連絡先が不明になっている人」が問題。この解決ができるか？これから卒業する人が中心か？

A. 入力することがメリットになるように同窓会活動を活発化するべきであり、使

ってみたいと思う機能をシステムに入れることが必要。(古野)

有効なメールアドレスが集まることで問題を解決できる可能性がある(田崎)

Q. セキュリティの問題として、違う人が連絡ハガキを使ってしまう問題にどう対処するか?

A. 対策が必要だと認識している。質問形式の認証等も考えているが、本人しか知らない情報が何かなど、考える必要がある。また、ユーザが見られる名簿ページは画像情報となっておりコピー&ペーストが不可能となっていることと、名簿情報にアクセスするとアクセスログが残ることから、名簿情報の悪用については、対策が取られている。

Q. 各種案内は、これまでの郵送形式のものから、メールベースになるのか?

A. 総会を年次化することもあり、コスト削減の立場から、そうしたいと考えている(古野)

大学がオンライン広報誌「天伯」を送りたい(高嶋)

Q. 総会に来れない人で返信もなかった人に本件をどう連絡するのか?

A. 総会資料は Web で公開する。メールで通知できる人には通知する。(古野)

コメント:

- ・ 京大では、大学の部屋の予約が同窓会 Web ページを通して行えるようになっており、それがメリットになっている。
- ・ 連絡が取れない OB の連絡先を求めて、教員に連絡しておく OB がおり、これが同窓会の仕事のひとつになっている。
- ・ 転勤する人にとっては、とてもありがたいシステムである。地域で検索できるようになると良い。

3. 会則の改定について(総会の年次化、監査役の設置、その他)(稲田)

資料 26TS-5 により説明があり、承認された。承認および成立の要件については、役員会で議論すること、Web 名簿システムの規約も成文化することとした。

質疑応答:

Q. 来れない人の意見を伺うのが、総会の頻度が上がることで難しくなるのではないか?パブリックコメントのような形で意見を集めることができるのか?

A. Web システムを使うことで、こういったことがやりやすくなる。(古野)

Q. 会員が監査になれるが、それで問題はないのか?

A. 同窓会は互助会なので、それでも問題はない。

Q. 監査人はどこで承認するのか?

A. 会則の変更(第 24 条)を、更に変更する必要がある。

4. 平成 25 年度事業報告&平成 26 年度事業計画（稲田）
資料 26TS-6 により説明があり、承認された。
質疑応答：
Q. 会報発行の案内ハガキを出す予定か？
A. Web 名簿の仮パスワード発行案内の中にも含めるようにしたい。（古野）
5. 平成 25 年度決算報告&平成 26 年度予算計画（稲田）
資料 26TS-7 により説明があり、一部修正（”（豊友会）”を削除）の上、承認された。
質疑応答：
Q. 入学者数に対して入金数が少なくないか？
A. 単純に払っていない入学者がいる。（稲田）
Q. 払わない理由は何か？徴収できないのか？
A. 理由は分からない。Web システムがそれに使えるかもしれない。（稲田）
Q. 現役に対する援助が多いので、現役にもっと恩恵を強調するべきでは？
A. 現役に対する援助もアピールもすべきと心得ている。（稲田）
Q. 入学金免除者からの徴収が漏れていないか？
A. 漏れていない。（稲田）
Q. 入金と支出のバランスが悪くないか？繰越し金が多いのは何故か？
A. 会としての活動量が少ないためである。増やさないといけない。（古野）
Q. 新系対応準備金の用途は何か？
A. 当初は旧系と同じように分配する予定で、新系卒業者が増えるまでプールしておく計画であったが、その計画をやめたため、統合される。（稲田）
Q. 資産の項目がないが資産はないのか？
A. 資産はない。（稲田）
Q. このような大きなお金をストックしているのは組織的にまずいのではないか？
A. 同窓会として認識はしている。（稲田）
Q. 留学生で 10 月入学の学生からは会費を徴収できていない。特別会員（教員）も会費を払っていない。このような人たちの情報の統合が必要。特別会員の権利はどのようなものか？
A. 今後の課題とさせていただきたい。（稲田）
Q. 各系からの繰入れ金の詳細はどのようなものか？
A. 会報で各系毎に報告されているので、そちらを参照願いたい。（稲田）
Q. ストックされているお金はどう使うのか？40 周年、50 周年に使うのか？
A. 30 周年のときは、時計と照明塔として寄附した。旧 3・4 系の三志会からも払

っている。寄附は募る（クレジットカードで寄附ができるように Web システムに機能を入れると良いか）が、持ち金の中からも出すことになるだろう。その他のアイデアとしては、授業料を払えない学生に貸し出したり、名簿の住所整理を外部委託で行うこと等を考えている。また、通帳（銀行）を分散させたり、投資を行うことも考えるべきかもしれない。